

2019年度（令和元年度）

自然保育推進事業 活動報告書

1 福山市立郷分幼稚園

2 今年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

本園は、市の中心部より少し離れた田園地帯に位置し、東に芦田川、西に萱野山があり自然環境に恵まれています。本園には子ども達が身近な自然によくかかわり、季節を感じながらのびのびと遊ぶ姿があります。また、地域にある唯一の公共施設であるため、田植え、稲刈り、栗ひろい体験など、地域の方からたくさんの協力を得ています。春は土手のつくし採りや段ボール土手すべり、夏は、みんなで山へ木を取りに行つてツリーハウス作り、秋は木の実ひろいやイチョウの落ち葉ひろいをして落ち葉温泉を作つて遊びました。今年度は自然体験アドバイザーの菊間馨先生を講師に招いて冬の森遊びをしました。

1年を通して園周辺の自然散策に出掛け、それぞれに見つけた物を園に持ち帰つて遊びを楽しむ姿があります。



(2) 特に印象的だった遊びの事例に関すること

6月5日(水) 田植え

気持ちのよい青空のもと、田んぼの持ち主小野田さんのご厚意で郷分幼稚園の特色である田植えをすることができました。



苗の植え方や稲の育ち方について檀上さんに教えていただきました。子ども達は又ル又ルの土の感触を体験しながら、お母さんやお父さんたちと一緒に苗を植えていきました。中には尻もちをつく園児もいましたが楽しく最後まで田植えができました。

秋の収穫が楽しみです。小野田さん、檀上さん、岩佐さんありがとうございました。



9月5日(木) ちゃぶらん散歩 虫捕りと土手すべり

さくら組さんとちゅうりっぷ組さんは異年齢交流「がったいランド」のメンバーと一緒にちゃぶちゃぶランドへ散歩にでかけました。教育実習生の福山市立大学・就実短期大学の学生さんも一緒に行きました。



6月に植えた苗が大きく育って稲になっていました。稲刈りも近いですね。

まず、土手を段ボールのそりですべりました。土手すべりが楽しくて楽しくて、何度も何度も挑戦している園児達でした。



その後、広い芦田川河川敷に大きなバッタがとんでいるのを見つけた園児達は夢中で追いかけて走り回っていました。しばらくすると、虫かごの中はバッタやコオロギでいっぱいになりました。「楽しかったー!」「また、来たいよ!」みんな大満足でした。



12月4日(水) イチョウがりとイチョウ落ち葉温泉

今日、さくら組さんは朝一番の発表会練習後、八幡神社にイチョウがりに行きました。イチョウの葉が黄色く色づいたら落ち葉温泉に入れて楽しもうと計画していたからです。



黄色く色づいたイチョウのじゅうたんの上を滑ったり、黄色い葉っぱを投げ上げてイチョウのシャワーを浴びたりとさくら組さんは大はしゃぎ。その後、イチョウをみんなで集めて幼稚園までかついで帰りました。



さくら組さんは持ち帰ったイチョウの葉を落ち葉温泉に入れて、ちゅうりっぷ組さんを選んでみんなでまたまた大はしゃぎ。イチョウのシャワーをみんなで浴びて、イチョウ落ち葉温泉を楽しみました。

最後にさくら組さんはイチョウ落ち葉温泉にゆったりと入って、おもいをみんなで食べました。

あ〜、楽しかった!!



1月30日(木) 冬山探検に行きました(森遊び)

今日は裏山へ冬山探検(森遊び)に出かけました。第1回目の森遊びだったので、広島県自然体験活動アドバイザーの菊間 馨先生を講師にお招きして、いろいろと教えていただきました。



森の入り口で菊間先生から「坂を登る時は手をつく 降りるときはおしりをつくと安全」と学んだ後、森の動物たちに「来たことを知らせるために」みんなで歌を歌って登っていきました。広い落葉樹の森が開けており、子どもたちは喜び半分、おっかなびっくり半分。転ぶ子、木につかまる子、木をゆらす子。泥浴びをしたイノシシが木の根元で体を擦った跡を菊間先生に教えていただくと、すかさず「この穴は何？」と質問する子。キツネの巣穴だったと教えていただき、腕を突っ込んでみる子。みんな興味津々です。



がけを登ってみることにしました。獣道まで登るとすべり台の要領で落ち葉をかき分け滑り降ります。みんなもう夢中です。すぐにおしりは真っ黒け。きのこを見つけてくる子。やたら穴が気になる子。どこまでも登り、がけを滑り降りる子。時を忘れて遊び込んでいます。温かい天気にもまれ最高の森遊びでした。



先生方も子ども達と一緒にしっかりと楽しみました。午後からは今日の森遊びについて振り返り、菊間先生から身近な自然環境を活かした教育・保育活動について様々なアドバイスをいただきました。

2月26日(水) もう、つくしが顔を出していたよ。

暖冬の影響でしょうか、もう郷分土手につくしが顔を出していると聞いたので、みんなで出かけました。



まだまだ小さかったのですが、いっぱい顔をのぞかせていました。子どもたちはその中から、大きいつくしだけをとっていました。大きなあれ！また来るからね。



3月6日(金) 2回目の森遊び



今日は第2回目の森遊びに行きました。
森の入り口で前回菊間先生に教えていただいたとおり、「森の動物たちに来たことを知らせる」ために大きな声で歌を歌って登って行きました。



広葉樹の森に入ると木漏れ日がシャワーのように子どもたちにいっぱい降り注いでくれます。

担任の先生は前回菊間先生から教わった「坂を登る時は手をつく 降りるときはおしりをつくと安全」を再確認。敷物を円形に敷いてその上に上着やリュックサックを置くと子どもたちはいとも簡単にかげを登り、落ち葉をかき分けながらどンドン滑り降りています。前は少し不安そうな顔をしていた子どもたちでしたが、今日はみんな笑顔いっぱいで大はしゃぎ。みんな夢中です。



おしりは真っ黒け。でも平気です。しだやきのこを見つけてくる子。木を揺さぶる子。木に登る子。かすらを見つけロープにして登り、かげを滑り降りる子。今日も時を忘れて遊び込んでいます。あっという間にお風がやってきました。



お母さんが愛情を込めて作ってくださったお弁当をみんなでおいしくいただきました。お母さん、おいしかったです。ありがとうございました。今日はALTのハント先生をはじめ先生方も一緒に楽しみました。

3 身近な自然とのかかわりのなかで

本園のめざすこども像は「元気な子」「よく遊ぶ子」「がんばる子」「やさしい子」です。

子ども達は身近な自然に触れ、全身を使って遊んでいます。遊びの面白さや気づきをことばで伝え合い、考え合いながら、自分たちで工夫して遊ぶ力が育っています。また遊びのなかで友達同士の優しいかかわりが見られるようになりました。これからも子ども達と共に、自然の恵みのありがたさを感じながら、驚きや喜びに共感し、身近な自然を大切にする心を育んでいきたいと思ひます。